

身近な地質スポット

愛知県小牧市／「岩崎山」

前回に引き続き濃尾平野の独立峰、岩崎山を紹介します。

岩崎山は、小牧山より北東約3kmに位置し、南北約200m、東西約300mの範囲で小高い丘を形成し、山頂の標高は54.6mです。

岩崎山を構成する地質は、中生代白亜紀の領家花崗岩類で、尾張東部から西三河地域の猿投山地を構成する深成岩（花崗岩）とは同類です。

前回紹介の小牧山は付加体のチャートです。一方、同じような平野の小山である岩崎山は花崗岩（深成岩）、その地質はまったく異なるものです。

小牧・長久手の戦い（1584年）では、岩崎山に羽柴軍の砦が築かれ、小牧山の徳川軍と敵味方に分かれて睨み合っていました。

現在の岩崎山には熊野神社があり、昔とかわらず小牧山頂を望むことができます。

ここでは花崗岩の露頭が随所に見られます。岩肌の所々に残る人工的な石切跡を見つける、岩盤の風化進行状況を観察するなどしてはいかがでしょうか。

この花崗岩は名古屋城の石垣にも使用されており、境内横の五枚岩は県指定の天然記念物、十字架を連想させる切支丹灯籠は市指定の有形文化財です。



写真-1 岩崎山全景（神社入口より南→北を望む）



写真-2 岩崎山露岩／花崗岩（五枚岩）



写真-3 切支丹灯籠

余談ですが、
この地質スポットの近くにはこんなお店がありました。
らーめん まぜそば「あらし」



地図の出典：NAVITIME ホームページ <https://www.navitime.co.jp>

らーめん まぜめん／あらし



場 所：愛知県小牧市新町1-80
営業時間：11:00～14:00、18:00～22:00
定 休 日：火曜日

左：看板まぜめん、右：塩らーめん（あらしMAX）。
まぜめんには角切りのチャーシューがどっさり。
干しエビ、干し貝柱の香ばしさが際立つタレは極太麺
や具材とよく絡み一体化。
塩らーめんは丸鶏スープに魚介を合わせたW スープ。
塩はフランス、ベトナム産にこだわり、魚介の風味が
際立ち後を引きまます。

ごはんは無料。残ったタレに追い飯。
チャーシューは軟らかく、あぶった焦げ
目が食欲をそそります。
辛みを効かせた台湾まぜそばも人気。
醤油らーめん、台湾カレーまぜそばもあり
ました。

